

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年07月24日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000013"/>	整理番号 <input type="text" value="11395"/>	担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="プロテアソームによるタンパク質分解を防ぐ方法"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="プロテアソームによって分解される全タンパク質"/>		
目 的	<input type="text" value="プロテアソームによって分解されるタンパク質の安定性を維持する方法の提供。"/>		

技術概要	<p>近年iPS細胞が細胞膜透過性の4つの転写因子により作成可能であることが報告された。しかし、この作成法では1ヶ月以上におよび大量のタンパク質を3、4日毎に投与する必要がある。これは多くの投与タンパク質が細胞内で分解されるためである。また、近年細胞膜透過性タンパク質によるタンパク質療法の開発が進んでいるが、この療法においても投与タンパク質が分解によってあまり効果を発揮しないことが懸念される。</p> <p>本発明では、細胞内の多くのタンパク質が分解されると推測されるプロテアソーム分解に対する耐性モチーフを発見した。本発明の耐性モチーフを目的タンパク質に融合すれば、細胞や個体投与後分解耐性を発揮し、iPS細胞作成期間を大幅に短縮できる可能性がある他、タンパク質療法への応用も可能である。また、強力なプロテアソーム分解によってこれまで解析できなかったタンパク質の機能解析も可能となる。</p>
------	---

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp